

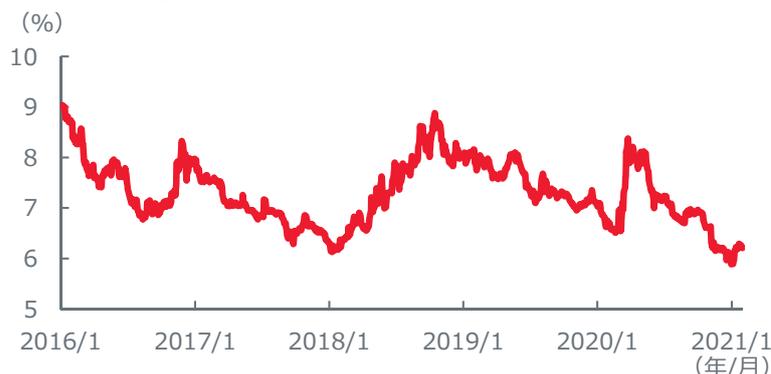
(対象期間：2021/1/25～2021/1/29)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年1月29日)**

【株式市場】

首都ジャカルタの行動制限が再び延長されたことを受けて週初からインドネシア株式市場は下落しました。リスク回避姿勢の強まりから特に個人投資家の売りが強まりました。ジョコ大統領は正式に政府系ファンド(SWF)の監督委員会を任命しインフラ株に一時買い戻しが見られましたが、週末にかけて再び下落しました。米国株式市場の下落など世界的にリスク回避姿勢が強まる中で、ジャカルタ総合指数は節目である6,000ポイントを割り込み、前週末比大幅下落となりました。

2021/1/22	2021/1/29	変化率
6,307.13	5,862.35	-7.05%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年1月29日)**

【債券市場】

26日に行われたイスラム国債の入札では堅調な応札が見られましたが、発行額は9兆ルピアと政府の当初発行予定額(14兆ルピア)を下回りました。入札後、長期債を中心に利回りは低下しました。その後も株式市場がリスク回避姿勢の強まりから大幅下落となる中でも、外国人投資家からの資金流入を背景に債券市場の利回りは低下傾向となりました。インドネシア10年国債利回りは週間で低下(価格は上昇)しました。

2021/1/22	2021/1/29	変化幅
6.268	6.207	-0.061

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年1月29日)**

【為替市場】

週の半ば、リスク回避姿勢の強まりからアジアの株式市場が大幅下落となり、アジア通貨全般が弱含む中でインドネシア中央銀行(BI)はルピア買いの介入を行いました。その後は外国人投資家からの債券市場への資金流入などを背景にルピアには買い戻しの動きが見られ、週末にかけて堅調となりました。ルピアは週間では対円、対米ドルともに上昇しました。

2021/1/22	2021/1/29	変化率
0.7357	0.7479	+1.66%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ